

平成 28 年度富津市一般会計補正予算（第 2 号）について

平成 28 年 8 月 25 日記者会見資料

9 月補正予算額 22,706 千円 補正後の予算額 16,746,742 千円

主な補正予算の内容は次のとおりです。

1 職員給与関係（総務課）（9 月補正追加）

◎人事異動に伴う予算組換え及び地域手当 0→4%（人件費） △3,191 千円

当初予算見込時 402 名 → 399 名（3 名減）

○常勤職員人件費の内訳

2 節：職員給料 △17,155 千円

3 節：職員手当等 +36,702 千円（地域手当 30,839 千円）

4 節：共済費 △28,134 千円

○地域手当支給の実施時期 平成 28 年 10 月～

2 老人福祉費関係（介護福祉課）

① シルバー人材センター運営事業 3,000 千円（9 月補正新規）

平成 28 年 6 月 17 日に一般社団法人「富津市シルバー人材センター」が設立されたことに伴い、当該団体が高齢化社会を支える公益性、公共性を有する団体であることから補助金を交付する。

○当該団体の所在地 富津市岩瀬 1057 番地

② 地域介護・福祉空間整備事業 2,781 千円（9 月補正新規）

国の地域介護・福祉空間整備推進交付金（介護ロボット等導入支援事業特例交付金）を活用し、介護従事者の負担軽減を目的として、申請のあった 3 事業所（デイサービスきらり、特養つつじ苑、特養やまぶき苑）にマッスルスーツ購入の補助金を交付する。

補助額 927,000 円×3 事業所=2,781,000 円



介護業務による疾病の約 9 割※1 を占めると言われる腰痛。

マッスルスーツは、最大 30kg の大きな補助力で腰の負担を約 1/3 に軽減し、ベッドから車椅子への移乗や入浴介助などをサポートし、安心・快適な介護現場を実現する。

※1 出典：厚生労働省「業務上疾病発生状況等調査(平成 26 年)」

⇐ 《マッスルスーツ事例》

平成 28 年度富津市一般会計補正予算（第 2 号）について

平成 28 年 8 月 25 日記者会見資料

3 母子等福祉費（子育て支援課）

◎ 児童扶養手当給付事業 2,976 千円（9 月補正追加）

児童扶養手当法の一部が改正され、支給額が引上げられたため、事業費を増額補正する。

当初予算 140,936 千円 + 9 月補正 2,976 千円 = 合計 143,912 千円

※児童扶養手当とは・・・父母の離婚等により、父親または母親と生計を同じくしていない児童を養育されている家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当

4 観光費関係（商工観光課）

◎ 高宕山自然動物園管理運営事業 8,100 千円（9 月補正新規）

（交雑対策業務委託料）

現在、千葉県内では深刻なアカゲザルとニホンザルの交雑問題が発生しており、本園のニホンザルは、種全体で見ても希少であり、保護優先度が高いため、全頭の DNA 鑑定を行い、純粋種であることの確認及び個別個体管理を行う必要性から今回補正予算を計上する。

【施設概要】所在地：富津市豊岡 1779-1 開園：昭和 34 年 飼育頭数：約 130 頭

管理運営：富津市観光協会天羽支部へ指定管理委託

5 学校管理費（中学校）関係（教育総務課）

◎ 中学校施設整備事業 1,200 千円（9 月補正追加）

（学校施設改修工事）

強風により大貫中学校野球場の防球ネットが落下したことから、補修工事を実施する。 当初予算 37,900 千円 + 9 月補正 1,200 千円 = 合計 39,100 千円

6 事務局費（教育総務費）関係（学校教育課）

◎ 特色ある道德教育推進校における研究事業 200 千円（9 月補正新規）

千葉県で作成した道德教育映像資料等の効果的な活用や道德教育の一層の推進を図るために県内の 20 校が道德教育推進校として指定され実践教育を実施する。富津市は大貫小学校・大貫中学校が研究指定を受けた。

（講師謝礼 30,000 円 + 消耗品費 70,000 円） × 2 校 = 200,000 円

当初予算 0 千円 + 9 月補正 200 千円 = 合計 200 千円